

ひろげる expand つなぐ join かえる change

5
2011

2011 年 4 月 25 日発行
通巻 149 号

コラム

今こそ日頃に培った「日常知」を
被災された方々のために

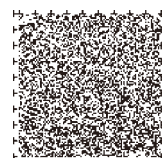
みえ災害ボランティア支援センター長 山本 康史

NPO物語 Vol.25

ハローボランティア・ネットワークみえ

代表 山本 康史

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



今こそ日頃に培った「日常知」を 被災された方々のために

みえ災害ボランティア支援センター長 山本 康史

東日本大震災という巨大な衝撃は市民社会を大きく揺さぶっています。私たちに何ができるのか？日頃取り組んでいたさまざまな市民活動は、果たして非常時に役に立つのか？

答えは「Yes」です。日頃取り組んでいた活動「こそが」災害時に役に立つ、と言い換えても良いと思います。日頃から高齢者の介護に取り組んでいたからこそ、避難所での高齢者の対応方法について気がつく。こどもたちの取り組みをしていたからこそ、避難所でこどもたちと遊ぶことの大切さを理解できる。ジェンダーに関心があったからこそ、避難所を女性の目線で改善できる。外国人と交流があったからこそ、災害時、日本人以上に心細い外国人が頼れる人になれる。

「災害ボランティア」は、日頃から「災害に関心を持って活動している人」と、この国難に「何とかしなければと、にわかに立ち上がった市民」だけで取り組んでも、ちっぽけな力しか発揮できません。日頃それぞれ多様な取り組みをしているみなさんが、自分の得意分野で「災害ボランティア」になる。決して高度な資格や高い能力は必要ありません。一人ひとりが日頃の活動や生活の中で無意識に手に入れた日常的な知恵（日常知）と、日頃に培った顔の見える関係こそが、他の分野の人にとっては新鮮で難しい課題を解決してくれる知恵であり、人のつながりとなり、お互いに情報を共有し活かし合うことで何倍にも力を発揮できる様になるのです。

東日本大震災を受けて、みえ防災市民会議、みえ NPO センター、三重県ボランティア連絡協議会、日赤三重県支部、三重県社協、三重県が立ち上げたみえ災害ボランティア支援センターは、そんなみなさんが今この一時、災害ボランティアとして被災された方々の力になれるよう支援する活動に取り組みます。

被災された方々が復興の途中で息切れしてしまわぬよう、悲しみを乗り越え、災害前よりもよい地域になったと胸を張れるよう、今こそみんなで行動しましょう！！

助成金情報



環境



子ども



福祉



環境

公益信託 富士フィルム・グリーンファンド

受付期間 5月16日（月）当日消印有効

対象団体 (1) 営利を目的としない活動及び研究。
(2) 活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内であるもの。

対象活動 活動助成は、身近な自然の保護や、自然とのふれあいを積極的に行っている個人や団体

助成金の額 総額は850万円で、助成件数は4件程度。

応募方法 募集要項・申請書等は、助成基金名・住所・氏名を必ず記入して、ハガキまたはFAXで下記へ請求。財団法人自然環境研究センターのウェブページ（<http://www.jwrc.or.jp/>）からも当該文書をダウンロードすることができます。

問い合わせ先 財団法人自然環境研究センター 信託基金事業部
〒110-8676 東京都台東区下谷 3-10-10

Tel 03-5824-0960 Fax 03-5824-0961

HP <http://www.jwrc.or.jp/>

必要事項を記入・捺印し、正本1部と副本1部を団体所在地の都道府県にある当会地方事務室あてにて郵送（簡易書留）。

問い合わせ先 〒100-0005 千代田区丸の内 3-4-1

新国際ビル 3階 （社）生命保険協会「子育て家庭支援団体に対する助成活動」事務局

Tel 03-3286-2643 Fax 03-3286-2730

HP <http://www.seiho.or.jp/>



環境

平成23年度「緑化を伴うヒートアイランド対策に関する助成事業」

受付期間 5月25日（水）必着

対象団体 日本国内に所在する法人、地域活動団体。

対象活動 申請者が、①屋上、②建物の外壁面、③駐車場、④空地、等で行う新たな緑化事業で、樹木、芝、多年草等を植栽するもの。

助成金の額 ・助成対象費用の100分の70、または200万円のいずれか少ない額。（1件あたり）

・予算額600万円

応募方法 所定の応募用紙を用い、必要な図面・書類などを添えて郵送。HPよりMicrosoft Office書類とPDFファイルのうち、使いやすい方を選択。

問い合わせ先 財団法人高原環境振興財団

〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-27-1301

Tel 03-3449-8684 Fax 03-3449-2625

HP mail@takahara-env.or.jp

HP <http://www.takahara-env.or.jp/>



子ども

子育て家庭支援団体に対する助成活動

受付期間 5月20日（金）当日消印有効

対象団体 民間非営利の団体・ボランティアグループ、NPO法人等で、所定の要件を満たす団体

対象活動 就学前の子どもの保護者等（妊婦等を含む）を対象とする支援活動

助成金の額 1団体あたり上限25万円（総額最大1,400万円）

応募方法 HPより所定の「助成申請書」をダウンロードし、

三重銀行の社会貢献活動

社会貢献についての考え方のお話を

三重銀行 総合企画部 広報室 課長代理 山下大輔さんに伺いました

三重銀行では「次世代育成支援」を社会貢献活動の大きな柱と考え、NPOの方々と協働し継続して取り組まれています。

NPOとのかかわりについては、三重銀総研が地域通貨を研究していく際に、地域通貨に携わっていた地元NPOの方と出会ったことが、そもそもNPOへ応援をするきっかけとなりました。NPOの皆さんが地域を活性化させる大きな力となっていることがわかり支援することを決めたそうです。

具体的には、2004年より「NPOサポートファンド」「NPOローン」などの応援を開始されました。「NPOサポートファンド」は、NPOの方々から資金面の悩みについて話が合ったのがきっかけと、『地域銀行として地域活性化というのは一蓮托生。地域活性化をさせるには、NPOの方々の力をお借りすることが一つの方法で、その力を発揮されるにはどうすればいいかを考えて「NPOサポートファンド」を実施した』と語られました。

社会貢献活動においては、「NPOサポートファンド」で寄付された側のNPOの方々と三重銀行経営陣との間で「NPO交流会」を開催し意見交流を行う中で、社会貢献活動の協働事業のアイデアが生まれました。そこで出来てきたものが、まなびの

森づくり・チャイルドラインMIEの応援・広告物の音声化（スピーチオ）などでした。

三重銀行が地域に貢献することの一番は、銀行業務を通じて地元お客様の発展をサポートすること。その一方で、地域の一人としての社会貢献活動が非常に重要であり、企業の社会的責任を果たす経営を目指しておられます。

銀行という存在そのものが、社会の中においてこそ存続・発展すること、だからこそ社会とともに歩む「良き企業市民」として積極的に社会貢献活動に取り組まれているということをお聞きすることができました。

こういった三重銀行の社会貢献活動に取り組む姿勢は、社会からの期待に真摯に応えるとともに倫理観をもって企業の社会的責任を果たされておられ、企業とNPOの関係の大変よい形を提供いただいていると感じました。



「まなびの森」での植樹

環境

平成 23 年度「子供たちの環境学習活動に対する助成事業」

受付期間 5月25日（水） 必着

対象団体 国内の保育園、幼稚園、小学校、子供会、町内会等の地域活動団体。

対象活動 申請者が小学生以下の子供を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動など。

助成金の額 ・助成対象費用の額、または50万円のいずれか少ない額。（1件あたり）
・予算額400万円

応募方法 HPより助成金交付申請書をダウンロードし、必要書類を作成し、正副2部を財団に郵送。

問い合わせ先 財団法人 高原環境振興財団
〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-27-1301
Tel 03-3449-8684 Fax 03-3449-2625

E-mail mail@takahara-env.or.jp

HP http://www.takahara-env.or.jp/

福祉

第28回（平成23年度）

「老後を豊かにするボランティア活動資金」

受付期間 5月31日（火） 当日消印有効

対象団体 地域社会で高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループで、人数が10～50人程度。結成以来の活動実績2年以上。

対象活動 地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となるものなど。

助成金の額 1グループにつき10万円を限度とし、申請内容を

検討した上、決定。助成グループの数は180グループ程度。

応募方法 HPより所定の申請書をダウンロードし、必要事項を記入し、郵送。

問い合わせ先 財団法人 みずほ教育福祉財団
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5
みずほ銀行本店内
Tel & Fax 03-3596-4531
※詳しい内容はHP参照

HP http://www.mizuho-ewf.or.jp

福祉

ニッセイ財団 平成23年度高齢社会助成「共に生きる地域コミュニティづくり」【先駆的事業助成】

受付期間 5月31日（火） 当日消印有効

対象活動 ・高齢者の自立・自己実現・社会参加等を推進する地域社会システムづくりの先駆的事業
・高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした先駆的事業
・認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な先駆的事業

助成金の額 2年半、1団体あたり 700万円以内

応募方法 HPより募集要項・申請書をダウンロードし、必要書類を郵送。

問い合わせ先 〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号日本生命今橋ビル4階 日本生命財団 高齢社会助成 事務局
Tel 06-6204-4013 Fax 06-6204-0120

HP http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

NPO から寄せられた募集とご案内

笑いヨガ

ワールドラフターデー (世界中で笑って、健康と人生の喜び、平和を願う日)

①笑いヨガ

ラフターヨガ (笑いヨガ) はインドのカタリア医師が考案した新しい健康法! 誰にでも簡単にできる笑いの体操です!

日 時 5月1日 (日)

【午前の部】 10:00 ~ 11:30
昼食、親睦

11:30 ~ 13:30

【午後の部】 14:00 ~ 15:30

参加費 午前・午後ともにチャリティー (東日本のボランティア団体の運営資金に寄付)

※申込不要

(当日、直接お越しください)

②ラフターヨガ (笑いヨガ) リーダー養成講座

日 時 5月21日・22日 (土・日)

9:30 ~ 17:00 (2日目終了後、インドのラフターヨガインターナショナル認定書授与)

参加費 32,000 円 (Dr.Katarina のラフターヨガリーダー認定書、リーダーマニュアル日本語版、その他資料、昼食付き)
※要申込み (FAX にて受付)

場 所 ①②ともアスト津 3 F みえ県民交流センター イベント情報コーナー (津駅東口隣接ビル)

主 催 三重ラフター (笑い) ヨガクラブ

問い合わせ先 Tel & Fax 059-230-4077 (加藤)

H P <http://blogs.yahoo.co.jp/terurinclub>

乳がん検診

第 27 回母の日キャンペーン ～今ある命に感謝して～

日 時 5月8日 (日) 12:00 ~

内 容 ◎乳房の自己検診とマンモグラフィ検診を推進する運動
◎自己検診の仕方を書いたティッシュを配る。(1000 個)
◎一般の女性に自己検診の仕方を説明する。

場 所 津駅前交番付近、参加無料

主 催 乳がん体験者の会あけぼの会 (三重支部)

問い合わせ先 Tel 090-2944-4773

Fax 0596-25-3426 (小野)

博物館のスタッフになりませんか?

三重県立博物館

「サポートスタッフ大募集」

サポートスタッフは、三重の自然や歴史・文化に関する調査・研究、資料の収集、展示企画などの幅広い博物館活動に関わることができます。ご自身の知識や技能を深めるとともに、世代や興味関心を超えた交流や、地域のすばらしさの再発見などを体感してみませんか。

対 象 (1) 三重の自然や歴史・文化に興味がある方
(2) 博物館活動に興味関心がある方
(3) ご自身の知識や技術を生かして、博物館活動をしてみたい方

応募締切 第一次締切: 5月11日 (水)
(定員 80 人)

問い合わせ先 三重県立博物館

Tel 059-228-2283

Fax 059-229-8310

(サポートスタッフ担当)

✉ haku@pref.mie.jp

H P <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/haku/>

三重県環境学習情報センター 指導者養成講座

「インタープリター養成講座」

インタープリターとは、インタープリテーション (自然・文化・歴史・遺産の価値やその本質にあるメッセージを伝える活動) を実施する人のことです。参加者が体験したり考えたりして、自然などからのメッセージに自分から気づくように導くのがインタープリターの役割です。

日 時 5月15日 (日)、21日 (土)、28日 (土)、6月5日 (日)
9:45 ~ 16:30

※4日間で1講座です。

場 所 三重県環境学習情報センターと周辺 (四日市市桜町)、参加無料

対 象 ・自然に関心があり、地域や施設などでインタープリターとして活動したい方
・自然観察などの活動にインタープリテーションを取り入れたい方
・環境学習に関わっている方やインタープリテーションに関心のある方

募集人数 15 人程度

応募方法 講座名「インタープリター養成講座」、氏名、郵便番号、住所、電話番号 (FAX 番号) をご記入のうえ、郵便、FAX、Eメールのいずれか。

応募締切 5月9日 (月)

問い合わせ先 三重県環境学習情報センター (環境学習推進員 木村)

〒512-1211

四日市市桜町 3684-11

Tel 059-329-2000

Fax 059-329-2909

✉ info@eco-mie.com

市民公開講座

「あなたのそばに成年後見」

日 時 5月22日 (日) 13:30 ~ 16:30

場 所 アスト津 4 階 アストホール、参加無料

内 容 第1部 (13:30 ~ 14:20)
成年後見とは? 遺言・相続とは?
第2部 (14:30 ~ 15:20)
あなたの老後は大丈夫?
(質問にお答えします)
第3部 (15:30 ~ 16:30)
個別相談会 (無料)
※受付は当日会場にて

講 師 当サポートセンター会員 (行政書士) 稲森たね

主 催 NPO 法人三重成年後見サポートセンター

後 援 津市、津市社会福祉協議会、中日新聞社、三重県行政書士会

問い合わせ先 Tel 059-230-3362 (堀尾)

自然のなかで気軽に楽しもう!

「野鳥観察会 ~春編~」

風薫る5月。木々の緑がきらめく季節です。夏鳥のホトトギスやウグイス、イカルなどの野鳥のさえずりを楽しみながら、上野森林公園を散策してみませんか。

日 時 5月22日 (日) 9:30 ~ 12:00
※雨天の場合は室内でお話となります。

場 所 三重県上野森林公園、参加無料

募集人数 15 人

持ち物 あれば双眼鏡やハンディ図鑑、筆記用具

※当日は、長袖・長ズボン・帽子を着用し、運動靴でお越しください。

応募方法 Eメール、FAX または往復ハガキのいずれか。

応募締切 5月13日 (金) まで。先着順で受付。

主 催 三重県上野森林公園 日本野鳥の会三重 三重県環境学習情報センター

問い合わせ先 三重県上野森林公園

〒518-0817

伊賀市下友生字松ヶ谷 1

Tel 0595-22-2150

Fax 0595-22-2151

✉ muenofp@e-net.or.jp

講演会

人生のターニングポイント～夢と現実の間で～ 「夢みるゆめ子ちゃんと壁ぶちあたり子ちゃん」

結婚・出産をゴールに夢見るシングル、寿退社・出産で仕事を辞めたけど、どこか生きづらさを抱える女性、慣習やしがらみの中でもがいている女性へ、仕事・結婚・出産・介護等それぞれの節目で自分で人生を選択し「ひとりが基本」の暮らしに向き合うノウハウとスキルをお話しいたします。

日時 6月4日(土) 13:30～

場所 三重県総合文化センター 大ホール

講師 上野千鶴子

定員 800名程度、参加無料
※詳細はホームページ参照

応募締切 5月24日(火)

問い合わせ 三重県男女共同参画センター
「フレンテみえ」
〒514-0061

津市一身田上津部田 1234

TEL 059-233-1130

FAX 059-233-1135

HP <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/jigyuu/H23/004.html>

ご家庭で国際交流してみませんか?

ドイツ人学生の

ホストファミリー募集

三重大大学のサマースクールに参加するドイツの大学生 15 名を受け入れていただくホストファミリーを募集します。大学で 1 年間日本語を学んだ学生なので、日本語での日常会話に支障はありません。

期間 8月14日(日)～9月4日(日)まで
月～金(午前) 三重大大学にて授業
(午後) 週に数回程度、日

本文化体験に参加
※週末はホストファミリーと過ごすこととなります。

※条件として、朝食・夕食の提供と、個室部屋をご用意いただける方に限ります。

謝礼 3万円

主催 三重日独協会

問い合わせ Tel 059-227-0687 (大河内)

✉ okochi_tomoko@mac.com

東日本大震災支援ボランティア

みえ災害ボランティア支援センターでは、東日本大震災で被災された方々に

寄り添いながら息の長い支援を行うための活動や募集を行っています。

東日本大震災支援ボランティアの登録をはじめました

被災地及び県内でのボランティア活動に参加希望するボランティア(個人または団体)の登録を実施します。登録者には、被災地の災害ボランティアセンターの情報、三重県内の一時遠隔避難所の生活支援等に関わるボランティアの情報を Eメールまたは Fax 等により提供します。

対象 ・三重県内に在住している方
・三重県内に勤務、通学している方
※ボランティアバスが出発します。詳細はホームページでご確認下さい。

事務局ボランティアを募集しています

みえ県民交流センター(アスト津 3 階)で活動していただく事務局ボランティアを募集します。

・庶務(ボランティア・物資の受付、電話対応など)
・情報収集、発信(ブログ更新、プレスリリース資料の作成、情報整理、議事録作成など)
・現地ボランティアコーディネート(ボランティア送り出しのための現地団体との連絡、調整など)
・県内イベントの企画・運営(街頭募金、店頭への募金箱設置交渉、活動報告会の実施など)

対象 被災された方々のために、三重県にいても何か少しでも力になりたい、と考えていただいているみなさま。

活動期間 1日～長期(継続的でなくても結構です)

活動時間 9時から22時ごろまでの中で来られる時間帯(2時間以上が望ましいです)

※交通費、食費などの支給はありません。
※ボランティア活動保険は各自でご加入をお願いいたします。

活動支援金の口座を開設しました

みえ災害ボランティア支援センターが行う支援ボランティア活動にかかる交通費・宿泊費等の支援金を受け付けています。ご協力いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

<ゆうちょ銀行>

郵便振替口座 00830-2-169995

<百五銀行>

津駅前支店 普通預金 855116

(ゆうちょ・百五ともに)

口座名義 みえ災害ボランティア支援センター

フリガナ ミエサイガイボランティアセンター

問い合わせ みえ災害ボランティア支援センター
Tel 059-226-6916

(土・日・祝日を除く 9 時～17 時まで)

Fax 059-226-6918

✉ center@v-bosaimie.jp

HP <http://www.v-bosaimie.jp/mvic/>

✉ E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

(1) フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
(2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(審査部)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

理念と歩みから学ぶ NPO物語

NPO STORY

Vol.25

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を
紹介していきます。

参加し、楽しみ、学ぶ場をつくる

ハローボランティア・ネットワークみえ

代表 山本 康史

社会参加の敷居を下げる、参加の第一歩の場として

ハローボランティア・ネットワークみえ（以下、「ハボネット」と略）の創設の経緯とミッションについて教えてください。

平成10年（1998年）に三重県が「歴史街道フェスタ」というイベントの事業をやることになって、そこで当時の北川知事さんが、今まで業者に任せてきたイベントを何とか転換し、ボランティアの協力を得てイベントをやったらどうだ、という事になりました。

当時はイベントでボランティアをするといっても今ほど一般的ではなかったので、担当する県職員が模索する中で「ボランティアの事務局をするボランティア」を募集してみようかとなりました。私は偶然そこに参加をして、イベントに参加するボランティアをコーディネートする事務局ボランティアとして、そのイベントに関わらせていただきました。

たった一か月間のイベントだったんですけど、500人を超える人が申し込みをしてくれました。せっかく集まった500人の人たちを一回のイベントだけで、はい終わりですよと解散するのももったいないので、「今後もこういうイベントがあったらボランティアしたいですか」というアンケートをとり、200人以上の方がやりたいと手を挙げて始まったのが、この「ハボネット」です。

古くから地域でやるイベントであればともかく、特に県がやるイベントは地域に根ざしているわけでもなく、

参加者の目線でイベントの事務局に参加できる人ってなかなかいませんでした。我々がイベントのボランティアを事務局の方と打合せながらやることで、参加者の目線に近いところでそのイベントを良くしていける、と感じています。

イベントには地域のたくさんの人が関わりますから、イベントを介した人の関わりが地域のまちづくりに繋がっていく。地域に参加するとかボランティアに参加するとか、NPO活動もそうですが、敷居が高いというイメージがありますが、「この日だけ、半日だけやりませんか」というイベントのボランティアであれば、非常に敷居が低く、また楽しくできる。

そこで、出会った人たちと次のステップへドンドン育っていったい欲しいわけです。だから、イベントボランティアは市民社会に参加していったらという最初の第一歩、入り口としての機能を提供できる。人を育てる場になっていると考えています。



平常時にできる災害対応時のボランティア コーディネートの訓練

もう一つ別の隠れた目的、ミッションがあるとか？

実は私は防災のNPOもやってるんです。イベント会場にはたくさんの人が集まり、そしてイベントをやっているとたくさんのトラブルが起こる。ボランティアさんの協力を得ながらトラブルに対処していく、その一連の流れというのが、災害のときに被災者がいらっちゃって、たくさんのボランティアがやってきて、そのボランティアをうまく被災者と繋ぐということとすごく似通っている。

災害時の訓練というのは、想像しながらやってもイメージがしにくいんですけども、目の前にイベント会場という現場があることで、実践的な経験を得ることができる。臨機応変の対応とか、一期一会で出会ったボランティアさんとうちチームワークをつくってミッションをこなすとか、これって災害時のすごく大事な能力というか技能なんです。

それを平常時から養っておけるという意味で、実はスタッフは災害対応の訓練をイベント会場で行っている、そういう裏のミッションがあります。これは皆には内緒で行っているんですけどね。仲良くなったスタッフにだけ、実はね、と種明かしをしています。

このことが防災の仕掛けとして全国から関心を持っていたら、多くの方が視察・体験に来られました。



HANABI *きれいなボランティアでのゴミナビゲート (伊勢・宮川花火)

イベントは先駆的なチャレンジの場であり、 社会を変えるきっかけとなる

イベントはどういう場であるとお考えですか？

イベントというものの魅力を私たちは借りたんです。「このイベント、面白そうでしょ、だから一緒にやりませんか」と。自分たちの活動そのものの魅力よりも、イベントの魅力をいかに引き出すか、ということだと思うんですよ。いかに魅力的に参加できる場をつくっていくか。その結果、いろんな人が参加してくれました。

イベントって面白いのは、社会の問題がすべてそこに凝縮されているんです。例えば、今、イベント会場のバ

リアフリーって当たり前になってきましたけど、10年前は全然そんなこと言われたことなかったんですよ。

イベント会場は、突貫工事をつくって、また壊すものなんやから、「バリアフリーなんてそこまで配慮できません」って言うたものが、今ではちょっと段差があるものにはスロープつくるとか、コードをはわせるところにはシートを掛けることが当たり前になってきた、これは10年間の変化だと思うんです。

こういうバリアフリーの問題とか、高齢の方や子どもたち、外国人も集まってくる、それらの方への対応とか、環境問題、ゴミの分別など、イベント会場って、実は地域の課題がギュッと詰まっていて、その仮設の会場で日頃の地域課題がすべて起こるわけですよ。それって逆に考えてみると、地域課題に対して先駆的なチャレンジがイベント会場でできるということ。

例えば、今イベント会場でゴミの分別って当たり前になりましたけど、昔はゴミ箱一つで、みんな一緒に放りこんで、後から業者に分けさせてたのを、ゴミ箱4つ5つ置いてみんなに分別を呼びかけてみようとして何年前に始めて、今では当たり前になっていった。

イベント会場でいいのは、失敗したら、次、やらなきゃいいだけ。でも、社会でシステムとしてつくってしまうと止められない。それで皆の反応を見てみる場所として、イベント会場を使っているいろんなチャレンジをしたらいいと思う。

そういうチャレンジの一つの成果の例を紹介すると、受付とかインフォメーションには「筆談します」という札を置きましょうよ、とサン・アリーナであったイベントで置かせていただいたんですね。そしたら、それ「面白い、面白い」ということで市役所の人々が全部持って帰って、市役所のカウンターすべてに「筆談します」という札を置いてくれたんです。

こういうふうに、社会をイベントをきっかけに変えていけると思っています。



【データ】

〒514-0009 三重県津市羽所町 700 アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター 1 階
Tel & Fax なし
E-mail info@hello-v.net
ホームページ <http://www.hello-v.net/>
代表者 山本 康史
団体設立年月日 平成 10 年 12 月 12 日
会員数 480 名
会費 無料

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げます。

被災地支援からみえるNPOの課題

現在、東日本大震災の被災地では現地のボランティアセンターの機能も整いつつあるため、いよいよ現地への直接的な支援活動が求められるようになり、実際に多くのNPOやボランティアが現地入りをしている。

しかし、一方で「迷惑ボランティア」という言葉がインターネット上で話題になっている。これには賛否両論あるようだが、「被災者のニーズを第一に考えた活動内容が本に行われているか」が議論のポイントの一つであると思う。これはNPOが活動を推進していく上でも共通する部分があるのではないだろうか。NPOという名を使った善意の押し売りは絶対に避けなくてはならない。当たり前なことではあるが、市民の声をしっかりと受け止めたNPOこそが地域に必要とされている。

今回の東日本大震災の教訓は計り知れないものがある。その中で、NPOはもう一度、自分達が本当に市民の目線になった活動を行っているのかを自問自答する機会になっているのではないだろうか。

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は？職員を雇うときの手続きは？助成金をとりたけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

- 対象** NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。
- 日時** (1) 10:00 ~ 11:00
(2) 11:00 ~ 12:00
今後の予定：5月6日(金)、6月7日(火)
- 場所** みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
- 相談員** 特定非営利活動法人
みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから相談に応じて
- 問い合わせ先** みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りますか？～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時
5月19日(木)
13:30 ~ 16:00 (予定)



コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』

「いいこと」してるはずなのに？ ■きちんと届いてる？…募金の落とし穴 ■逆差別を生む？…途上国の里親制度 ■ホントに役立ってる？…古着の寄付仕組みを知らないと、その「善意」がムダになる！
著者：田中 優 発行：河出書房新社
発行年月：2010年7月

◆『NPO 法人における雇用と働き方』～現状・課題・今後に向けて～

発行：愛知県県民生活部社会活動推進課
NPO・ボランティアグループ
発行年月：2011年1月

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

夢ひこき (2011年3月3日)
NPOふるやま (2011年3月10日)
三重の海・山・川を守る連絡協議会
(2011年3月10日)
有馬を創造する会
(2011年3月22日)
(2011年3月10日～2011年4月9日届出分)

認証した特定非営利活動法人

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地
③ 活動分野 ④ 認証年月日

① 有馬を創造する会
② 熊野市有馬町 596 番地の 3
③ 保健、まちづくり
④ 2011年3月11日

① 大谷台学童保育会
② 四日市市垂坂町 380 番地
③ 子ども
④ 2011年3月14日

① グリーン Net
② 鈴鹿市平野町 1360 番地の 7
③ まちづくり、環境
④ 2011年3月31日

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

JAバンク
三重県下JA・JA三重信連

三重銀行

健全・安心・貢献
東海ろうきん

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学/鈴鹿市立白子公民館 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) /三重県米町庁舎(情報公開窓口) /三重県総合医療センター /三重県立一志病院 /三重県立志摩病院 /三重県立こころの医療センター /三重県立こころの健康センター /斎宮歴史博物館 /三重県立博物館 /三重県立図書館 /三重県生涯学習センター /三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 /三重県人権センター /三重県身体障害者総合福祉センター /三重県環境学習情報センター /三重県鳥羽パート情報センター /三重県立熊野古道センター /各市町役場

re70

PRINTED WITH SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。